

札幌市長 秋元克広 様

1000 億円もの税金を投入する 都心アクセス道路の建設中止を求めます

札幌市は、札幌自動車道と都心とのアクセス強化が必要だとして、創成川通の札幌新道から北3条通りの約4km間を結ぶ自動車専用道路＝都心アクセス道路の建設を推進しています。

国の計画段階評価で4つの整備案が審議されてきましたが、地下整備案に決定し全線地下トンネルで計画がすすめられることになりました。その建設費は1000～1200億円（市負担約200億円）と試算されていますが、地下埋設物の有無など建設費はさらに増大する可能性があります。

市の調査でも、創成川通の交通量は最も多い都心部でも交通容量を下回っており、新たな道路建設は不要です。また、市は「冬期積雪時の速度低下が著しい」といいますが、これは創成川通に限らずどの道路でも大きな問題であり、迅速な除排雪の実施こそ求められています。

市民からは「わずか8分の短縮に1000億円もの税金を投入するのか」という疑問が広がっています。コロナ禍のもとで多くの中小事業者や市民に深刻な影響が広がっています。不要・不急の道路建設はやめ、大切な税金は、その支援や医療提供体制の抜本的な拡充にこそ最優先で使うべきです。

創成川通は、右折待ちによる混雑の緩和が求められていますが、これは右折専用レーンの設置など交差点改良で対応可能です。人口減少社会の到来や若者のクルマ離れ、高齢者の免許証早期返納など自動車が減少する時代を迎えるなか、必要性が極めて乏しい道路建設に莫大な税金を投じるなど許されません。

都心アクセス道路の建設を中止するよう求めます。

氏名	住所

取り扱い団体（ ）

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

都心アクセス道路の建設中止を求める請願

〔請願趣旨〕

国土交通省北海道開発局は、創成川通の機能強化が必要だとして、札幌北ICから都心（北3条通）までの約4km間に高規格道路＝都心アクセス道路を建設しようとしています。

しかし、札幌市の調査でも、創成川通の交通量は最も多い都心部でも交通容量を下回っており、1000億円もの巨費を投じる道路建設は不要です。市は「冬期積雪時の速度低下が著しい」といいますが、これは創成川通に限らずどの道路でも大きな問題であり、迅速な除排雪の実施こそ求められています。

市民からは「わずか8分の短縮に1000億円もの税金を投入するのか」という疑問が広がっています。コロナ禍のもとで多くの中小事業者や市民に深刻な影響が広がっています。不要・不急の道路建設はやめ、大切な税金は、その支援や医療提供体制の抜本的な拡充にこそ最優先で使うべきです。

気候変動による豪雨被害が多発していますが、北海道開発局が作成した「豊平川氾濫シミュレーション」は、想定しうる最大総雨量、72時間406mmの豪雨で豊平川が決壊した場合、氾濫水は100分後には創成トンネルに到達すると警告しています。

都心アクセス道路は、創成トンネルに接続する計画であり、豪雨が多発する時代に逆行した無謀な道路建設というほかありません。創成川通は、右折待ちによる混雑の緩和が求められていますが、これは右折専用レーンの設置など、交差点改良で対応可能であり、莫大な税金を投じる道路建設は必要ありません。

〔請願事項〕

1. 都心アクセス道路の建設は中止すること

氏名	住所

取り扱い団体（ ）